

**大阪街宣懇学習会**  
「のびのび選挙を実現するために」  
6月14日(火) 18:30 国労大阪会館1Fホール

**原水爆禁止2022年国民平和進行**  
6月30日(木)～7月7日(木)  
(行進コースなどは現地実行委員会へご確認ください)

あ  
ん  
な  
い

一部10円 組合員の購読料は組合費に含まれています 1993年6月22日第三種郵便物認可

**ろーれん**  
クロスワードパズル

【とき方】二重カッコをアルファベット順に並びかえてください。あらわれた言葉・成句・詩歌が答えです。一部の文字は濁点に読み替えてください。

**タテのカギ**

- 政策・計画などを実行すること
- 等級・地位・力量などが下であること
- どうしてもイヤとくを通す
- 五・七・五・七・七の5句
- 菜の花や月は東に日は西に
- 新しく建てること。新築

**ヨコのカギ**

- 世界全体を総合的にとらえた人類の歴史
- 田螺、何と読む
- 非常に似ていること。本物と似た二セモノ
- 人のこころ、くを惑わす
- えこの第2
- 子は親のくを見て育つ
- 病状が回復して病院から出ること

4月号の答えは、「チニソラニヘイワオ(地に空に平和を)」でした。応募数はハガキ19通、メール85通、合計104通でした。次の10人の方に図書カードを贈ります。

**当選者(敬称略)**

多田さち子(寝屋川市職員)、森本宏美(貝塚市職員)、彦坂恒三郎(松原市職員)、岸村智美(大阪基準支部)、松本妙子(全教吹田)、加門憲文(府高教)、齋忠治(三協運輸分会)、藤井喜嗣(千代田学園分会)、園分会)、国田静香(大阪いずみ市民生協労組)、糠山和浩(大阪よどがわ市民生協労組)

ハガキまたはE-mailで〒・住所・氏名・組合名を必ず明記してください。

〈宛先〉 〒530-0034 大阪市北区錦町2-2 国労会館1F 大阪労連機関紙係  
E-Mail: kikanshi@osaka-rouren.gr.jp  
〈締切〉 8月25日(木)  
(発表は9月号)  
〈賞品〉 正解者の中から抽選で10人に図書カードを贈ります



- 2番目の息子
- 年の若い世代。時代
- 旧国名で今の静岡県東部
- 木曜日次の日
- 全く新しいこと。の本
- 馬子にも
- 個人経営で小規模のもの
- のをさす。診療所
- ひどく苦しむこと。辛苦
- 飄筆から
- 2番目の息子の
- 10年若くした
- 12日
- 13日
- 14日
- 15日
- 16日
- 17日
- 18日
- 19日
- 20日
- 21日
- 22日
- 23日
- 24日
- 25日
- 26日
- 27日
- 28日
- 29日
- 30日

**もうすぐ参議院選挙**

**カジノは本当に必要?**

**日本を戦争する国にしていいの?**



7月に予定されている参議院選挙で、ロシアのウクライナ侵攻に便乗し「改憲」を公約にしている政党もあります。しかし、それが私たちの願う政治の優先順位でしょうか? 読売新聞6月の世論調査では、重視したい政策や争点の上位には、「景気や雇用」「外交や安全保障」「年金など社会保障」「物価高対策」などが並び、憲法改正は下から4番目です。

私たちの暮らしは、賃上げ分を上回る物価の高騰で大変になっています。最低賃金の引き上げ、中小企業支援など賃金の底上げを応援する政治が必要ではないでしょうか?

大阪では「成長を止めるな! カジノは大阪経済の起爆剤だ!」と府民に十分な説明もなく国に設置の申請が送られています。コロナ感染で死亡率が一番の大阪で、最優先にしなければならぬことは本当にカジノ建設なんではないでしょうか?

参議院選挙はのちとくらしを守る大切な選挙です。私たちの要求を実現するために必ず投票に行きましょう。

**「太陽とボレロ」 「はい、泳げません」**

「太陽とボレロ」は監督水谷豊の3作目。豊かな自然に恵まれた地方都市で、長年活動を続けてきた、アマチュアの「弥生交響楽団」が舞台です。楽団は、自治体や金融機関の協力も得られず、資金難から解散が決まります。苦渋の決断を下した主宰者・花村理子(檀れい)は、18年の歴史の最後を飾るコンサートを計画します。一筋縄でいかない個性的な団員たちは、それぞれの思惑で勝手に動き回り、理子は翻弄されますが…。

クライマックスでは、楽団メンバーの俳優陣が、吹き替えなしで、ボロのオーケストラと「ボレロ」を演奏しています。解散に向かう物語ですが、始まりを感じさせる作品です。石丸幹

二、町田啓太森マリアが脇を固めます。6月3日より劇場公開。

「はい、泳げません」の主人公、大学教授の小島雄雄司(長谷川博己)は、気鋭の哲学者として著書も出し学生からも慕われて、充実した日々を送っているように見えます。しかし…彼には悩みがありました。水が怖く、泳ぎとは無縁の人生を歩み、泳げない。一念発起し、スイミングクラブを訪れると、受付にいた女性コーチの薄原静香(綾瀬はるか)から「大丈夫。私が必ず泳げるようにします」と自信満々に言われ、半ば強引にそのまま参加することになります。しかし、上達に合わせて隠れていた心の影も大きくなっていきます。小島遊は泳げるようになるのでしょうか? コメディー映画と思っていたら大間違い、プールを子宮に見立て、人生はやり直せることを伝える温かい作品です。6月10日より劇場公開。

**大阪労連共済** **どっと来む** 136

**春の共済拡大キャンペーンの最終月! 最後まで諦めず、奮闘を呼びかけます!**

大阪労連共済は、3月1日から6月30日までの4ヵ月間を拡大月間として取り組んできました。残す期間はあとわずかです。最後まで、ご奮闘をお願いいたします。

全労連共済の「5000人共済対話キャンペーン」も6月末で終わります。

この間の申請は、大阪全体で30人程度の対話に留まっています。共済未加入者に生命・医療・交通災害・火災・セット共済等をすすめる対話活動で一人1000円プレゼントが貰えます。申請・請求方法は、加入団体を通じ

所定の用紙に必要な事項を記入し当会へ報告(FAX)いただくと完了です。詳しくは当会へ連絡ください。進め方は、資料を事前に対象者に渡し、「共済対話マニュアル」を活用して対話。電話やSNSでの対話でもOKです。ぜひチャレンジしてください。

大阪労連共済事務局 ☎ 06-6357-6462 FAX 06-6357-1065 大阪労連共済は自治労連・大教組・国公労連・医労連・福保労の各共済とは制度が違います。